

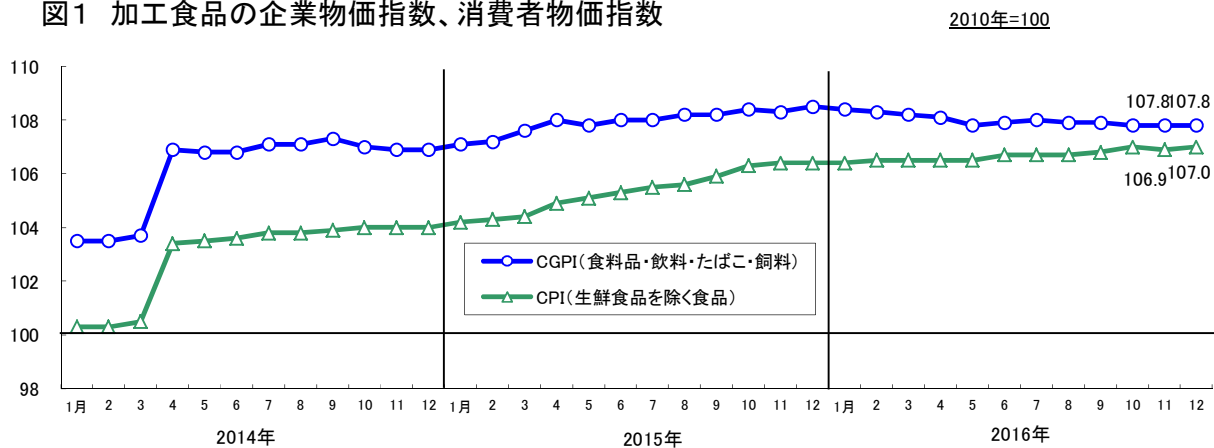
# 加工食品の物価及び生産・販売動向

## 1 加工食品の企業物価及び消費者物価

### 企業物価及び消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、2014年4月からの消費税引き上げにより上昇し、107.8と高水準で推移している。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食品）は同107.0で、企業物価指数と同様に上昇基調となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数



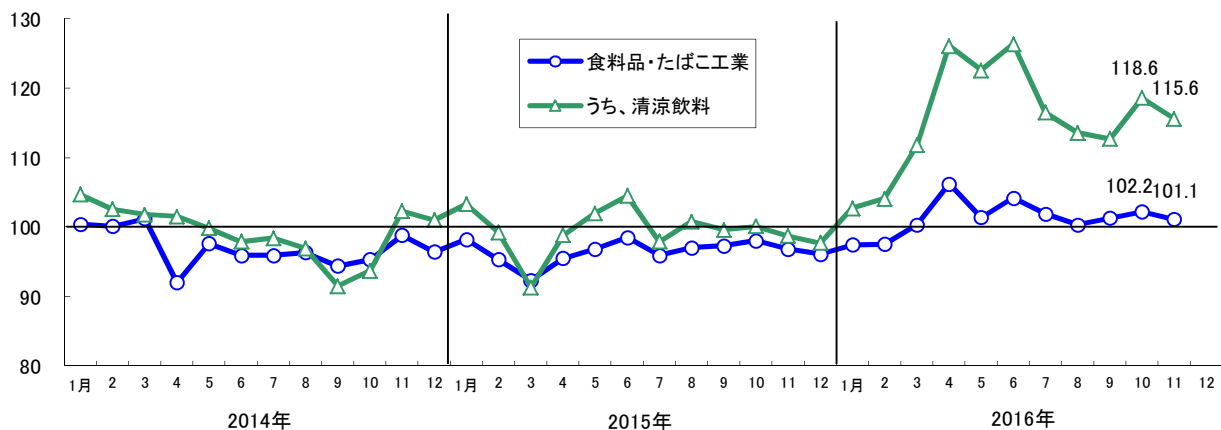
資料:日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

## 2 食品製造業の生産動向

### 食料品・たばこは前月比でわずかに低下、清涼飲料は同わずかに低下

2016年11月の食料品・たばこ工業の生産指数は、101.1で前月比▲1.1%とわずかに低下となった。うち、清涼飲料は115.6で前月比▲2.5%とわずかに低下となった。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2010年=100 季節調整済



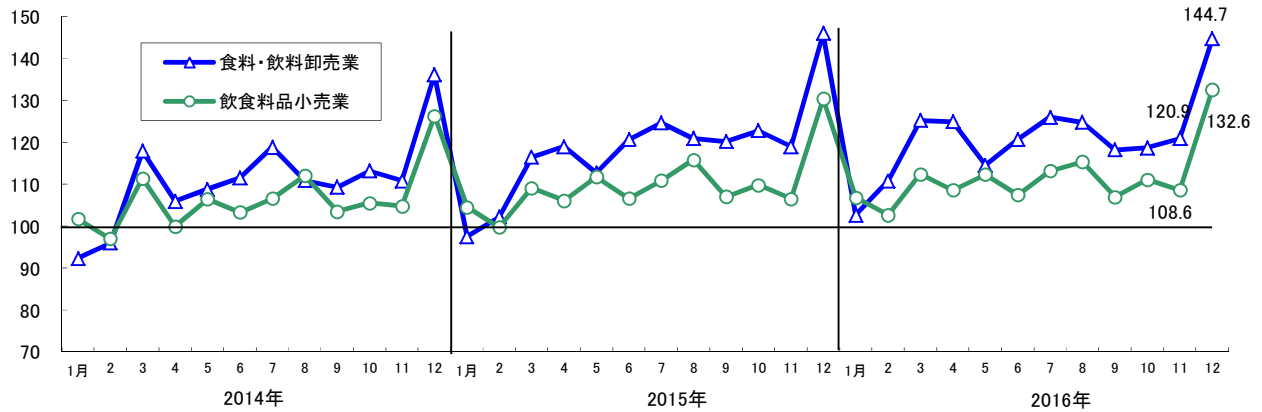
資料:経済産業省「鉱工業生産指数」

### 3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比で横ばい、小売業販売額は同わずかに上昇

2016年12月の食料・飲料卸売業の販売額指数は144.7で対前年同月比▲0.9%と横ばいとなった。飲食料品小売業の販売額指数は132.6で同1.7%とわずかに上昇した。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向



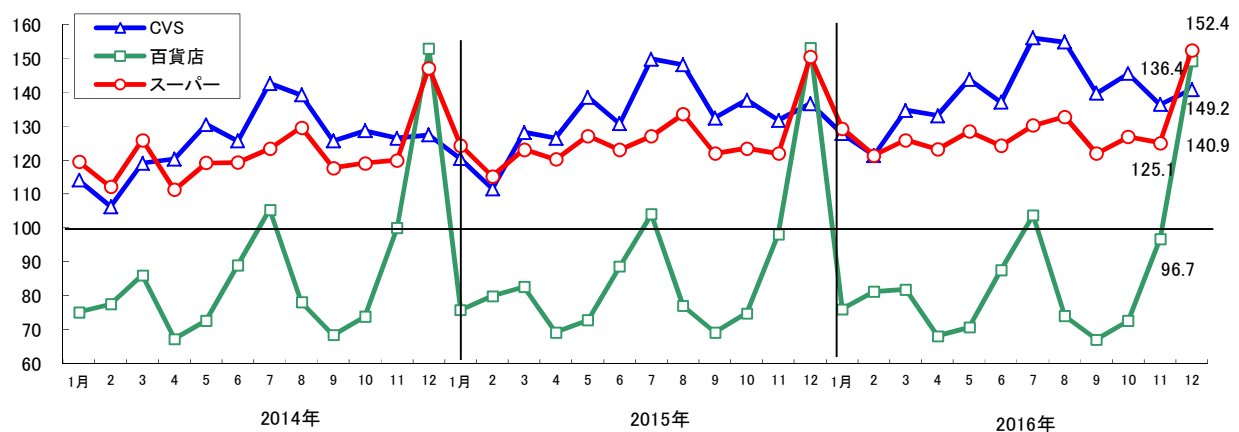
資料:経済産業省「商業販売統計」

### 4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVSは対前年同月比でやや増加、スーパーは同わずかに増加、百貨店は同わずかに減少

2016年12月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは140.9で対前年同月比3.1%とやや増加、スーパーは152.4で前年同月比1.3%とわずかに増加、百貨店は149.2で前年同月比▲2.6%とわずかに減少で、コンビニエンスストアは堅調に推移した。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向



資料:経済産業省「商業販売統計」

注:コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。